

## 釜石・陸前高田発

## 「行方不明者」集中捜索

東日本大震災の発生から間もなく4年目を迎えますが、沿岸被災地では行方不明者の集中捜索が行われました。2月10日には津波で大きな被害を受けた釜石市の箱崎町で、釜石警察署の署員12人が町内の海岸を捜索しました。署員らは海風が吹き付ける厳しい寒さの中、棒で海岸に漂着した木の枝などをかき分けて、行方不明者の手がかりを探していました。また月命日にあたる2月11日は陸前高田市や久慈市、山田町など沿岸被災地の5か所で集中捜索が行われました。陸前高田市米崎町の脇ノ沢漁港近くの海岸線では、大船渡警察署の署員17人が、熊手やトビロを使って砂浜をかき分けたり水門の扉にたまった砂を取り出したりしながら、行方不明者発見に繋がる手がかりが無いか、捜索に当たりました。1月末現在、県内の震災による行方不明者は1129人です。沿岸被災地の警察署では、今後も毎月の月命日を中心に集中捜索を継続してゆく方針です。



2月10日・釜石市箱崎町



2月11日・陸前高田市米崎町

2月10日には津波で大きな被害を受けた釜石市の箱崎町で、釜石警察署の署員12人が町内の海岸を捜索しました。署員らは海風が吹き付ける厳しい寒さの中、棒で海岸に漂着した木の枝などをかき分けて、行方不明者の手がかりを探していました。また月命日にあたる2月11日は陸前高田市や久慈市、山田町など沿岸被災地の5か所で集中捜索が行われました。陸前高田市米崎町の脇ノ沢漁港近くの海岸線では、大船渡警察署の署員17人が、熊手やトビロを使って砂浜をかき分けたり水門の扉にたまった砂を取り出したりしながら、行方不明者発見に繋がる手がかりが無いか、捜索に当たりました。1月末現在、県内の震災による行方不明者は1129人です。沿岸被災地の警察署では、今後も毎月の月命日を中心に集中捜索を継続してゆく方針です。

(2/10、2/11 ニュースエコー)

## 盛岡発

## 期日限定「牡蠣小屋」

大槌町の牡蠣の美味しさを全国に広め、牡蠣養殖の復興を支援しようと、盛岡で初めてとなる食べ放題の牡蠣小屋が、期日限定でオープンします。牡蠣は、震災前、遠洋漁業の乗組員だった大槌町の阿部清寿さんが養殖に取り組んで収穫したものを中心に、新おつち漁業協同組合から提供されます。盛岡牡蠣小屋は2日間限定で2月21日は内丸の「美藤」、22日が本町通の「一の〇」が会場です。完全予約制で、大人3500円、小学生以下は2000円の料金、この中から500円分が生産者に還元されます。(2/12 ニュースエコー)



## 釜石発

## 「湾口防波堤」報道公開



およそ490億円をかけ復旧が進む釜石港の湾口防波堤の工事で、安定度を増した新たな構造の大型コンクリートブロックを海底に設置する作業が報道陣に公開されました。ブロックは、幅・高さともに10メートルの鉄筋コンクリート製で重さは876トンです。アルファベットのTの字を逆さにしたような形状で、深さ60メートルの海底に作られた土台の上に置かれ津波の力に対抗します。釜石港の湾口防波堤は、2018年の復旧完了を目指して工事が進められます。(2/11 ニュースエコー)

およそ490億円をかけ復旧が進む釜石港の湾口防波堤の工事で、安定度を増した新たな構造の大型コンクリートブロックを海底に設置する作業が報道陣に公開されました。ブロックは、幅・高さともに10メートルの鉄筋コンクリート製で重さは876トンです。アルファベットのTの字を逆さにしたような形状で、深さ60メートルの海底に作られた土台の上に置かれ津波の力に対抗します。釜石港の湾口防波堤は、2018年の復旧完了を目指して工事が進められます。(2/11 ニュースエコー)

## 大船渡発

## 安倍総理・被災地視察

安倍総理大臣は今年に入って初めての沿岸被災地の視察を行い、大船渡市では復旧した水産加工工場と魚市場を視察しました。大船渡市の水産加工会社森下水産では、先月に再建され試験操業を始めたばかりの工場を視察しました。さらに去年春に再スタートを切った新しい大船渡魚市場を訪問。魚市場では国内最新式といわれる鮮度管理の設備などについて説明を受け、復興の状況を確かめていました。(2/14 ニュース)



安倍総理大臣は今年に入って初めての沿岸被災地の視察を行い、大船渡市では復旧した水産加工工場と魚市場を視察しました。大船渡市の水産加工会社森下水産では、先月に再建され試験操業を始めたばかりの工場を視察しました。さらに去年春に再スタートを切った新しい大船渡魚市場を訪問。魚市場では国内最新式といわれる鮮度管理の設備などについて説明を受け、復興の状況を確かめていました。(2/14 ニュース)

## 宮古発

## 「海翔」お披露目



津波で被災し、新たに建造した県の実習船「海翔」が宮古でお披露目されました。共同実習船は被災して使えなくなり、県は日本財団の支援を受けて新しい船の建造を進めてきました。「海翔」は全長およそ35メートルで総トン数171トン。LED照明など最新鋭の機器を導入し、女子生徒用のトイレや寝室も充実しました。海翔での実習は今年6月末から始まる予定です。(2/14 ニュース)

津波で被災し、新たに建造した県の実習船「海翔」が宮古でお披露目されました。共同実習船は被災して使えなくなり、県は日本財団の支援を受けて新しい船の建造を進めてきました。「海翔」は全長およそ35メートルで総トン数171トン。LED照明など最新鋭の機器を導入し、女子生徒用のトイレや寝室も充実しました。海翔での実習は今年6月末から始まる予定です。(2/14 ニュース)

「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122